

研究データに関わる研究・教育支援人材向け Python 活用基礎研修

実施要領

1. 概要と目的

本研修では、研究・教育支援現場で広く活用されるプログラミング言語である Python を使った基礎的なプログラミング技術を、オンライン実習（90分×4回）を通して学びます。

現在、世界的なオープンサイエンスの潮流の強まりを受けて、研究者のみならず、研究データに関与するすべての研究支援者による研究データの適切な管理が求められています。本学でもこの流れを受け、「大阪大学研究データポリシーの策定」や、「AI等を活用した研究データエコシステム構築事業」（統括：国立情報学研究所、事業期間：令和4～8年度）への参画などを通して、研究データ管理人材の育成環境の構築に向けた様々な取り組みを行っています。（例えば、https://rdes.rcos.nii.ac.jp/doc/0928_5-4_Kai.pdf）

また、最近では、データのクリーニングや処理、可視化など Python によるデータ処理が多く行われており、Python の基礎を学ぶことは研究データ管理において非常に重要です。そのため、本学の研究データ管理人材の育成の一環として、本研修を企画しました。

2. 受講の対象者

以下の要件のどちらにも該当する方

- 研究データに関わる研究・教育支援業務を担う本学の教職員（特任を含む技術職員、URA、教員、研究員や事務職員など。※補佐員を除きます。）
- ご自身の部門・セクション等において、支援業務のために Python を利用されている方、あるいは、今後利用しようと考えておられる方。

3. 研修方法

サイバーメディアセンターが運用する「情報教育システム」を用いて、同システム上で提供されているオンライン研修環境を使って行います。

受講者の PC・Mac 等から同教育システムに、全学 IT 認証基盤サービスを通してログインし、Python 利用環境が整備されたオンライン研修環境を利用します。講師による講義や実習中の質問・課題サポートを行うため、Zoom を併用します。

受講者各自で、同教育システムや Zoom に接続する PC やインターネット環境をご準備ください。

4. 参加人員

30名程度まで（定員を大幅に超える応募があった場合には、部局バランス等を考慮して人数調整させて頂くことがあります）。

5. 実習の日程

すべてオンラインでの実習です。各日、異なる課題を実習します。受講者各自で、教育シス

テムや Zoom に接続できるよう、PC やインターネット環境等をご準備ください。

講習 1 : 令和 6 年 3 月 1 2 日 (火) 1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

講習 2 : 同 3 月 1 4 日 (木) 1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

講習 3 : 同 3 月 1 9 日 (火) 1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

講習 4 : 同 3 月 2 2 日 (金) 1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

可能な限り、4 回の講習全てを受講することが望ましいですが、都合により欠席された場合でも、自主的に学習ができるよう、講義動画を Web サイトに掲載する予定です。

6. 費用等

研修費は無料です。

7. 研修内容

研究・教育支援部門・セクションで支援業務を担う教職員が、研究データに関わる支援業務で活用するために必要な、Python プログラミングに関する基礎的なスキル・知識を身につけるために、以下に示す様々な課題に各自で取り組みます。

【各回の内容】

- ・講習 1 入門編 1 Python プログラミングの基本
- ・講習 2 入門編 2 Numpy を使った Python プログラミング
- ・講習 3 応用編 1 Pandas と Matplotlib を使用したデータ解析
- ・講習 4 応用編 2 AI (機械学習) 入門

8. 講師

講師 : 木村 輔 特任助教 (常勤) (産業科学研究所・コアファシリティ機構)

山中 卓也 技術専門職員 (産業科学研究所 AI センター)

講師補佐 : 光岡 孝 特任研究員 (産業科学研究所)・奥村 由香 係長 (産業科学研究所)・

川妻 恵理 技術専門職員 (工学研究科)・向園 悠 特任技術職員 (情報推進部)・

甲斐 尚人 准教授 (附属図書館)

9. 主催・共催・協力

主催 : 附属図書館研究開発室

共催 : 産業科学研究所 AI センター

コアファシリティ機構 データ利活用 DX 支援部門・研究支援人材育成部門

情報推進部

サイバーメディアセンター

協力 : 技術職員連絡会議、部局横断型女性技術職員ネットワーク、産業科学研究所技術室

10. 備考

- (1) 事前に、受講の際の環境 (PC・Mac や WiFi 環境) で、上の情報教育システムにログ

インできるかどうか確認しておいてください。

- (2) 研修終了後、研修内容についてのアンケートを実施します。回答にご協力お願いいたします。
- (3) 令和6年度においても、同様の研修を実施する予定です。今回、都合がつかず受講できなかった方は、令和6年度の受講についてもお検討ください。